

# 兵庫県・ワシントン州友好交流に関する覚書

日本国兵庫県とアメリカ合衆国ワシントン州は、1963年10月22日、姉妹提携を締結して以来、文化、経済、教育等の幅広い分野で多彩な交流を展開し、45周年を迎えた。これを機に、兵庫県友好訪問団はワシントン州での記念行事に参加し、ワシントン州民とともに45周年を祝した。

両県州は、21世紀の新しい地球規模での交流の時代におけるパートナーとして、人類共通の脅威である感染症等の疾病や大規模災害をはじめ、環境問題、テロなどの諸課題に対して、国際社会がさらに協調して取り組むことが重要であるとの認識を共有する。また、人と人との草の根交流を原点とする国際交流において、経済、文化、教育、環境、防災など重層的な交流が多様な課題を解決し、同時に世界平和をもたらすものと認識を新たにした。

これらの認識のもとに、45年の長きにわたる着実かつ継続的な交流実績を踏まえ、世界の平和と両県州の一層の繁栄を願い、次の基本方針に沿って、相互交流をさらに充実させることに合意した。

## 記

1. 両県州は、引き続き、経済、文化、観光、教育など多様な分野における相互交流の推進に努力する。また、両県州の自治体、教育機関、民間団体、住民などの主体的かつ自主的な友好交流活動を積極的に奨励、支援する。
2. 両県州は、世界の他の自治体との連携のもと、環境、防災等地球規模の課題解決に向けた協力をを行う。
3. 両県州は、両地域のさらなる経済発展に向けて、それぞれの経済界と協力し、交易・投資の拡大を通じて経済交流の促進に引き続き努める。
4. 両県州は、草の根交流を促進するため、両地域の住民が相互に訪問する機会の拡大に向けて協力するとともに、関西国際空港とシアトル・タコマ国際空港間の直行便復便への必要な努力を行う。
5. 両県州は、教育・学術・研究の相互交流を促進し、兵庫県立大学、神戸大学などの兵庫県内の大学や大学コンソーシアムひょうご神戸と、ワシントン大学、エバーグリーン大学などのワシントン州内の大学との交流活動を支援する。併せて、兵庫自治学会と全米公共・行政学会エバーグリーン支部との交流を支援する。

以上のこととを確認し、2009年8月17日、兵庫県友好訪問団員及びワシントン州関係者出席のもとに、本覚書に署名する。

五百蔵俊彦  
兵庫県副知事  
五百蔵俊彦

Brad Owen  
ワシントン州副知事  
ブラッド・オーウェン